

事務事業名		社会教育指導員設置事業			会計	一般会計					
課等名		公民館			事業種別	政策		開始		終了	
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
		施策	28	学習交流活動の推進							
目的	対象(誰・何を)	市民			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	学習活動を支援する				飯田市の人口(人)(10/1推計人口)			103947		
	向上させたい上位施策の成果指標	家族や職場以外で交流のある市民の割合									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	学習活動を行っている市民の割合(%)									
	成果指標	活動日数			486	486	484	492			
	定性目標										
事業概要	社会教育指導員は、地域や社会が抱える今日的な課題を掘り起こして事業化していく役割を担う。 平成24年度からは「社会教育コーディネータ」という呼称に改め、飯田市公民館に臨時職員2名を配置し、次のような事業を担当する。 1 多文化理解、平和人権学習、フィリピンレガスピ市における公民館づくりを通じた住民参加型行政の展開サポート 2 子育て支援、ニート対策、高校生教育、小中連携・一貫教育を支える学校と社会教育の連携										
	事業内容										
24年度事業内容	1 小中連携・一貫教育コーディネータ				活動日数				486日		
	2 多様な主体との協働										
	3 子育て支援										
	4 多文化理解										
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		1,204	4,036	4,036	3,862						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		1,204	4,036	4,036	3,862						
人件費計(千円)②		0		0							
正規職員所要時間											
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		1,204	4,036	4,036	3,862						
事業内容・目標達成状況の振り返り	通称を「社会教育コーディネータ」とし、文化庁補助事業である日本語教育事業、地域と学校の連携に関する事例調査など新たな事業に取り組んだ。										
改革改善の考え方	①問題点	地域の抱える今日的な課題を掘り起こし、地域とつながる活動が必要。 地域と学校の連携については、地区公民館が直接関わることが必要。									
	②改革提案	レガスピ市における事業、文化庁事業の拡大を図るほか、平和・次世代育成など新たな課題の掘り起こしに取り組む。 地域と学校の連携については、地区主導の取り組みを支援していく形で取り組みを行う。									